



株式会社奥野組

本社：岡山市北区北方一丁目1番6号

業種：建設業

従業員数：16名

設立：1964年

資本金：2,100万円

URL：<http://okunogumi.com/>

経営理念：

- ・地域により安心・快適な環境を創造します。
- ・次の世代に誇れる「もの」を提供します。
- ・いのちを大切にし、ともに幸せをめざす企業です。

国土強靱化団体認証 レジリエンス認証 取得企業
(2016年～)



BCP策定に取り組まれたきっかけ

- ・BCP策定について考え始めたのは2010年くらいから。建設業である当社は「**インフラを守る**」「**インフラの維持が役割である**」という思いから、**BCPを作りたい**と考えていた。(災害時に水道、電気復旧も含め一番初めに動かなければならず、またリソースが減る中でも、危険な状況の中でもインフラを守るため活動しなければならないため)
- ・BCPを未策定だった時に一度災害に見舞われた。現場での各々の自由な判断に任せ、社長のもとに情報が集約されるような仕組みもなかったため、現場がかなり混乱した。
- ・まずは危機対応マニュアル(緊急時の手順書)を作るところからスタートした。
- ・その後、岡山県産業振興財団の講習に参加し、「**事業継続しなければ、市場がなくなる**」という観点を学び、「**経営論としてのBCP**」について、**どうしたら有事にも強く、生き残れる企業になれるか**について考えるようになった。

BCPの特徴・こだわりポイント

- ・当時の財団の講習には、**全社員で参加**させてもらった。おかげで、現場の人と経営陣とで感覚が離れることなく、現場の意見を吸い上げた形で**手順書と方針戦略を盛り込んだBCP**を策定でき、全員で本質を理解した上でBCPをスタートできた。
- ・よって、社員への周知・浸透の場を改めて設ける必要がなく、一からみんなで一緒に取り組むことができた。
- ・**毎年何かしらの災害が起きる度に、自社BCPを検証**。その中で、現在の内容から改善した方がいい部分も出てきて、見直しを行っている。(現在のBCPは第9版)
- ・**自社の強靱化だけではなく、公共インフラ等の復旧工事を通じて経済・社会活動の早期復旧に協力する**と共に、地域住民の事業及び生活の安心・安全に貢献したい。

感染症BCPについての取り組み

- ・バックアップ体制と衛生管理を織り込んだものの、まだ少し甘い部分があると感じているので要見直し。
- ・県の河川護岸工事等、災害がいつ起こるか分からない中で工事現場を止めるわけにはいかない。だからこそ、感染症を含むBCPの中でバックアップ体制を構築しておくことは大変重要である。
- ・都度、重機等の発注をかけることで従業員は集まる必要がなく、拠点がいらぬ状態でどこでも仕事ができる。



BCP策定のメリットやBCP策定・運用にあたり苦勞した点

<メリット>

- ・企業の付加価値をアップさせるようなBCP策定は企業にとっても有効である。
- ・BCP策定していることで**経営の安定化に繋がり、従業員は安心**する。
- ・権限移譲をして代行者に名前が入っていることによって、社員の意識も向上する。
- ・中核事業である建設業がダメージを受けたらどうするのかを考える中で、事業の多角化も検討しなければならぬと感じた。

<苦勞した点>

- ・代替生産等のネットワークは、とにかくやってみないと分からない。広域災害が起きた場合、岡山県はネットワーク上「受け手側」「助ける側」になれることの方が多と思うが、今後効果的運用をするには多くの協力が必要。